

人権講話を行いました

2月23日（火）の5・6校時に湘南地区車椅子バスケットボール体験講座隊の方々をお招きして、人権講話「生き方講演会チャレンジ～あきらめない心～」を行いました。

講師の松井さん、長田さん、鈴木さん、中村さんの自己紹介から始まり、普通の車椅子と競技用の車椅子の違いをお話していただきました。その後実際に競技用の車椅子に生徒も教員も乗り、全員でリレーを行いました。予想以上に軽く、小回りが効く車椅子にまっすぐ進むことにも悪戦苦闘しました。

体験試合では、激しく車椅子同士がぶつかったり、ロングパスを出したりと白熱しました。選手である講師の方々のテクニックのすごさに驚き、座ったままでのシュートやパスは普段と勝手が違いましたが、みんな一生懸命頑張りました。また応援の生徒も声を出しながら盛り上げました。

試合の後は、各講師の先生が車椅子バスケットに出会ったきっかけや、障がいを乗り越えてこられたお話をお伺いしました。「なくした物を数えるよりも、今あるものを生かして生きていきたい」という松井さんのお話に困難を乗り越えて来られた方の強さを見ることができました。また困難なときに周りで支えてくれた家族や仲間の大切さも実感しました。生徒代表の工藤さんは講話を受けて「今日の体験を通じて多くの事を学びました。僕もこれから逆境を追い風に変えて頑張っていきたいです。」という力強い気持ちを伝えてくれました。

